

社協通信

皆実学区社会福祉協議会



第22号 平成30年12月19日 発行 皆実学区社会福祉協議会

<http://shakyo-hirosima.jp/minami/> 発行責任者 市川 宏

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会 検索

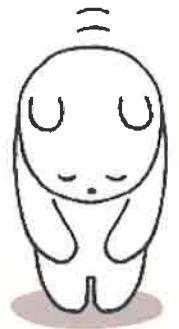
今年も一年 ありがとうございました

皆実学区社会福祉協議会 役員一同

いよいよ平成30年も終わりが近づいてきました。来年はさらに年号も変わり、新たな年が始まります。この一年間、学区の皆様には多大のご協力を頂き、各種の団体行事には積極的に参加ご協力を賜り、お蔭様で事に年を終えることが出来ました。役員一同改めて感謝とお礼を申し上げます。

私達役員は、予算や活動費などは皆様のご出費と共同募金会並びに広島市の助成金、広島市社会福祉協議会や近隣の会社の支援金など、沢山の団体から助成をうけて活動しております。貴重な資金が無駄にならないよう、特に住民の皆様の町内会費からの出費のお返しについては十分な事が出来るように何とか頑張って住民福祉と町づくりに励んでいます。しかし、皆様の十分な満足のいくものではないと、反省はしております。今後も情報の発信など努力いたしますので、皆様の忌憚のないご意見も遠慮なくお申し出下さい。来年もよろしく願いいたします。

皆様良いお年をお迎えください。



皆実小学校1年生と学区老人会

昔遊び体験指導 で交流する

去る11月28日(水)8時45分から皆実小学校体育館で、皆実小学校一年生の皆さんと学区の老人が、「昔遊び」の体験学習の一つとして、昔懐かしい「こま、竹トンボ綾取り、けん玉、お手玉」の五種目を行いました。お手伝いの老人達を名人と呼びながらの交流でしたが、指導しながら和気あいの交流と楽しい授業になりました。けん玉などははるかに児童の方がうまくて、名人顔負けです。時間制限の交代のため、全種目を全員というわけにはいきませんでした。2時間の授業があつと言う間に過ぎました。児童によっては、まだやりたい雰囲気でしたがチャイムがなり、次の授業のため終了となりました。

